

NTTクラリティ

NTT クラリティ株式会社



障害のあるアスリート社員の競技と業務の両立を支援

障害のある社員のうち、日本の代表選手(コーチを含む)等として活躍する社員を2017年度より『シンボルアスリート』として認定。現在は、ブラインドサッカー、ブラインドマラソン、CPサッカーにおいて活躍している3名の社員を認定している。



アスリート雇用を行っていない当社では、『シンボルアスリート』も他の社員同様に正社員として通常業務を定時まで遂行しながら練習や大会に参加している。そこでシンボルアスリートの支援に関する規程を制定し、主な内容として、大会や代表練習、合宿等の練習日を勤務扱いとするほか、大会等に係る諸費用の負担、シューズ等の用具・トレーナー費用・治療費の負担、スポーツ保険への加入等、安心して競技と業務の両立ができるような環境を整えている。

『シンボルアスリート』が出場するブラインドサッカーやブラインドマラソンの大会には、社内で(大会によってはグループ会社の社員も含め)観戦・応援者を募り、社員一体となって応援を行っている。



『シンボルアスリート』の体への負担を減らし、より良いパフォーマンスが発揮できるよう、オーダーメイドで発注したシューズ等の用具については、会社が費用負担している。



パラスポーツ体験授業の実施

当社近隣の学校に『シンボルアスリート』を派遣し、ブラインドサッカー・ブラインドマラソンの体験授業を実施している。視覚障害について説明した後、児童・生徒がアイマスクを着用し、見える人と見えない状態の人が一緒に、ブラインドサッカーでは準備体操、的当て等、ブラインドマラソンでは誘導、伴走(ロープと一緒に握って走る)等を行い、見えない人の気持ちを体験してもらう内容としている。

参加者からは「障害のある人の立場になって考えるという貴重な体験ができた。今後は積極的に声をかけて暮らしやすい街にしていきたい」「障害のある人への見方が変わった。音と声だけで競技するなんてすごい」等の感想を頂いている。パラスポーツを通じた共生社会の理解促進に寄与していると評価して頂き、2020年度も継続実施予定。

【実績】

2018年度:約1,300名(10校)
2019年度:約1,400名(9校)



パラスポーツ講演会への登壇

学校や企業でのパラスポーツに関する講演会に『シンボルアスリート』を含む当社社員(障害者スポーツに取り組む社員等)が登壇。各講師が取組む障害者スポーツの概要や、社内アスリートを応援する側として自身の障害の話を変え、『業務と競技の両立』『共生社会』『障害特性』等について講演を実施している。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

当社はNTTの特例子会社として2004年に設立、社名には「Clarte(光輝く)」+「Universal(全員)」+「Ability(才能)」を組み合わせ、「個々人の持ち合わせている才能が宝石のように多彩に輝く」という意味が込められています。

当社には『シンボルアスリート』の他にも、業務を遂行しながら障害者スポーツ(バスケットボール、野球、水泳、フィギュアスケート、ボウリング、空手等)に取り組む社員が多くおります。これからも社員が業務と競技を両立し光り輝けるよう、会社として支援を続けて参ります。